



要介護高齢者の入れ歯ケアは看護・介護職が最も多く行う口腔ケアのひとつでしょう。今回は前回に引き続き、高齢者のQOLに直結する入れ歯ケアを特集します。

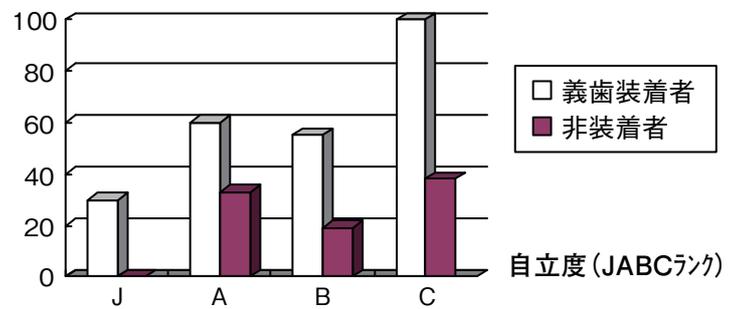
入れ歯の汚れによって生じる疾病

要介護高齢者にとって、入れ歯は「咀嚼」のみならず、嚥下機能や様々な機能を助ける道具であり、このことから胃ろうなどの経管栄養摂取のご利用者・患者様でも、可能な限り入れ歯を使用することが望ましいとされています。

しかし入れ歯はカテーテルなどと同様、ある種の微生物が繁殖しやすい高分子素材で作られており、清掃やメンテナンスが悪いと、入れ歯性口内炎や口角炎、口臭などの口腔疾患のみならず、以下のような疾患のリスクファクターになるとされています。

- ・ 誤嚥性肺炎
～口腔内や入れ歯に付着した細菌の誤嚥による。
- ・ 呼吸器官・消化器官への真菌感染
～入れ歯の汚れの中に存在する真菌の誤嚥・誤飲による。
入れ歯装着者は咽頭カンジタ菌(真菌)が多く、自立度が低下すると検出率が高まるとの報告(右図)があります。
- ・ 菌血症(細菌が血液中に侵入した疾患)
- ・ 心内膜炎(心臓の内側に細菌が感染、心臓弁の穿孔等の炎症性破壊と菌血症を起こす疾患)等

咽頭カンジタ菌の検出率(%)



市川哲雄 / 徳島大歯学部補綴学第一講座
老年歯科医学 第16巻3号2002年より

入れ歯洗浄剤使用の奨め

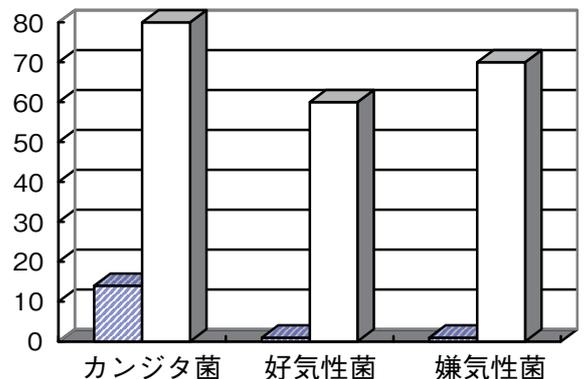
では入れ歯の清掃はどの様にしたらよいでしょうか？
右図は入れ歯洗浄剤の効果を研究したものです。

入れ歯洗浄剤を使用することにより好気性菌、嫌気性菌はほぼ除去することができ、真菌(カンジタ菌)除去にも有効であるとの発表です。

入れ歯洗浄剤が効果的な理由として、入れ歯に用いられるプラスチックは多孔質な素材のため、吸水性があり内部に汚れが入り込みます。このため、表面の汚れしか落とせないブラッシングに対し、入れ歯洗浄剤なら素材内部の洗浄も可能です。

ブラッシングのみならず、入れ歯洗浄剤の使用が口腔ケアの効果向上に有効です。是非入れ歯洗浄剤を使用しましょう。

菌の検出率 (%)



清浦有祐 / 奥羽大歯学部 1999年奥羽大歯学誌

口腔ケアは難しい事ではありません。ちょっとした工夫で安全・安楽に取り組めます。歯科専門職と連携して口腔ケアの習慣化に取り組みましょう。

